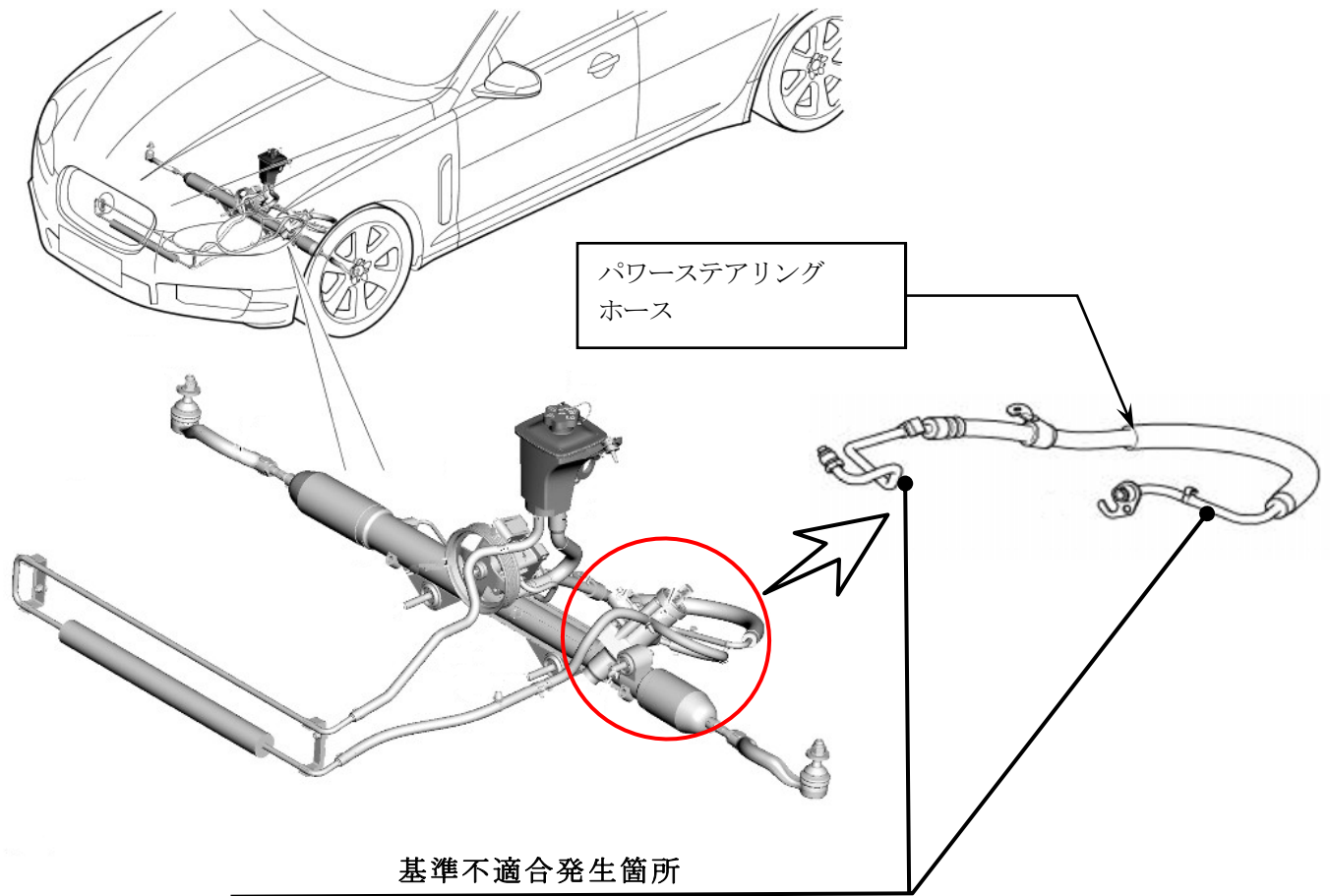


改善箇所説明図



パワーステアリングの高圧ホースのパイプ部において、メッキ加工時間の管理が不適切であったため、被膜の薄いものが取付けられている場合がある。そのため、そのままの状態で使用を続けると、腐食により当該パイプ部にピンホールが発生し、パワーステアリングオイルが漏れて、操舵時に異音が発生し、操舵力が増大する。最悪の場合、飛散したパワーステアリングオイルがエンジンや排気管などの高温部にかかり発火するおそれがある。

改善の内容

全車両、当該パワーステアリングホースを良品に交換する。

識別：右リヤドアラッチ取付けボルトに白ペイントを塗布する。

注： は交換部品を示す。